

第5回かわまちづくり協議会

議事要旨

開催概要

日時：2023年12月25日（月） 9：30～10：45

場所：木曽川下流河川事務所 会議室

出席者：

顧問：	伊藤 徳宇	桑名市長
顧問：	大坪 祐紀	木曽川下流河川事務所長
会長：	平野 勝弘	副市長
副会長：	森下 充英	桑名商工会議所特任参与
委員：	齋木 雅邦	木曽川下流河川事務所副所長
委員：	佐藤 強（代理：水谷 佳史）	桑名ブランド協議会会長
委員：	水谷 文人	桑名市観光協会会長
委員：	佐藤 博之	桑名市商店連合会会長
委員：	横井 健佑	東部商研会長
委員：	水谷 将（代理：林 雅也）	合同会社くわなラボ代表
委員：	水谷 忠司	精義地区自治会連合会会長
		欠席

1. 開会

2. 挨拶

伊藤顧問、大坪顧問より挨拶があった。

3. 報告

(1) 住吉・吉之丸エリアを活用したイベントの開催結果について

- ① 「くわな商工まつり」・「灯街道 桑名宿」・「桑名時代まつり」について
- ② Good Job Market について（以下「GJM」という。）

「資料 1-1：揖斐川河口周辺エリアを活用したにぎわいづくり事業－委員企画提案－実施結果」について、事務局（市）より説明があった。

以下、発言要旨

平野会長：ただいまの2件の報告について、何かご質問はあるか。

平野会長：トイレは桑名市が改修するのか。あるいは、国交省になるか。

事務局(市)：柿安コミュニティパーク内のトイレは、市が管理しているものである。

水谷委員：改修する予定はないか。

事務局(市)：利用者からも意見が出ており、庁内で検討したい。

水谷代理：GJMは知らない人も多くて、行ってみてびっくりしたが、もう少し上手に情報共有しながら、流れを共有できるようになったらよいと思う。

- 水谷委員 : GJM については調整しておらず、広報も GJM による SNS 等による拡散のみだった。
- 平野会長 : 桑名に見えていない方が来てもらっていたと思う。
- 水谷委員 : 桑名以外にも愛知や岐阜からテナントが来ていただいていた。お客さんもその利用者の方々が来ていただいたので、車での来場者が多かったと聞いている。
- 平野会長 : 新しい客層が増えたということだと思う。
- 水谷委員 : 駐車場の問題もあって河川敷を使用しており、河川敷の幅が狭いということも懸念していたが、GJM はマルシェということで若い客層が多く問題なかった。今後、高齢の方が多い場合は、川に転落するなどの危険性を感じるので安全面を考える必要がある。
- 平野会長 : 今回、GJM の新しい取り組みがあったと思うが、国交省としての評価等があればお願いしたい。
- 大坪顧問 : 駐車場の取り組みは良かったと思う。案内誘導をしっかりやっていただいたのが重要だったと思う。今後も、駐車場として使ってもらう際には、場内の安全確保とセットでしっかりやっていただきたいと思う。

4. 議事

(1) サウンディング型市場調査（2期）の実施状況について

「資料 2-1：サウンディング型市場調査（2期）の実施概要」について、事務局（市）より説明があった。

以下、発言要旨

- 平野会長 : この議案については、提案者のノウハウの流出を防ぐために、提案事業者に関する具体的な発言を控えていただきながら、ご意見等あればいただきたい。
- 水谷代理 : 提案 8 の舟運について、質問させていただきたい。観光客の交通手段としての海路活用とあり、付加価値として、プチ感動を～周遊ツアー等と記載しているが、交通手段以外に、どこを周遊させるか、あるいは、船の移動中にどういったことをお客さんにしていただくかなど提案がなされているか。
- 事務局(市) : ヒアリングの中では、船自体は揺れることを考えると船内で飲食するのは危険と指摘し、移動手段としてのみ船を使うことを想定しているという状況になっている。
- 森下副会長 : ⑦の提案の中には、ユニットを置いておくことになるか。その場合に、一般の利用者の障害でないようにする調整など考えているものはあるか。
- 事務局(市) : 住吉浦休憩施設付近を想定されているが、河川敷か、堤防上なのか堤防裏の緑地かまでは、確認できていない状況である。
- 森下副会長 : 栈橋は、国交省の栈橋を利用するか。
- 事務局(市) : 住吉浦の防災栈橋を利用することを想定している。
- 森下副会長 : 防災栈橋については協議会をつくっていたはずなので、使用する場合には、そこの調整はお願いしたい。
- 事務局(市) : 承知した。
- 平野会長 : 1～2日だけの利用を想定しているか。
- 事務局(市) : 週末ごとに実施していきたいということは聞いている。
- 平野会長 : それでは、「サウンディング型市場調査（2期）の実施状況」について、試行的に実施していくということにご承認いただける方は拍手をお願いしたい。

(一同、拍手)

平野会長 : 拍手多数ですので、本事業実施に向けて、引き続きヒアリングを行いながら進めてください。また、都市・地域再生等利用区域の指定に向けての計画にもこれらの提案を含めるようお願いする。

(2) 都市・地域再生等利用区域の指定に向けて

水辺空間利活用計画(素案)について

「資料 2-2: 桑名市かわまちづくりロードマップ(案)」、「資料 2-3: 揖斐川河口周辺エリア 水辺空間利活用計画(案)」について、事務局(市)より説明があった。

以下、発言要旨

平野会長 : ただいまの説明について、ご意見ご質問はあるか。

水谷委員 : 3点ほど確認したい。七里の渡し公園の休憩施設で、水辺で乾杯や花火大会等の利用があった。その後の利用が進んでいないが、申請に対する審査基準のレベルを下げてでも今後も利用することができないか。

事務局(国) : 利用ルール自体の変更はないが、今後も今年のような使い方ができるように、利用ルールの整理をしていきたいと考えている。

水谷委員 : 住吉浦前の道路は、警察の取り締まりが多い路線であり、六華苑に渡るところに信号がないのが問題だと思うが、信号機設置について検討できないか。

水谷代理 : 南側の信号から 200m 以上離さないと新しい信号は設置できないと聞いている。そのような状況において、横断歩道には信号が設置できないということを聞いている。六華苑を管理する立場として、確かにもう少しなんとかならないかという思いはある。

平野会長 : 公安協議ということになり、人の動線のこともあると思うので、今後協議をさせてもらってということをお願いしたい。

水谷委員 : 住吉浦の駐車場で逆走等があるので、もう少しサインを設置するなどしてもらえると、観光客にも分かりやすいと思う。

事務局(国) : 桑名市と相談します。

森下副会長 : GJM のように、いろんな活性化をしていくことはとてもよいことである。ただ、利活用に関する p.30 のようにルールづくりが必要である。収益事業をやる目的だけでやってもらうだけでなく、桑名の活性化に貢献いただき、桑名の PR をやっていただくようなことに活用してほしい。あくまでも公共の空間なので、公共性をどう入れていくのが、一つのルール作りの視点で必要である。もう一つは、今まで無料だったと思うが、今後は有料化を考える際に、公共的にやっているものも含めて一律有料化していくのかなどもあり、整理が必要だと思う。使ってもらうことについては、ぜひやってもらいたいが、そのためには、もう少し細かいルール作りが必要と考えているので、この場で課題として提案しておきたい。

事務局(市) : 今後、ルールづくりを検討していきたいと思う。

平野会長 : それでは、「水辺空間利活用計画」の素案については、皆様のご意見を踏まえて、次回の協議会で最終案を諮らせていただきますのでよろしくをお願いしたい。報告及び議事の全てを終了しました。委員の皆様、ありがとうございます。それでは、これ以降は事務局の方をお願いしたい。

事務局(市)：せっかくお集まりなので、そのほかに何かありましたら、お願いします。

横井委員：GJMは、当日、突然やっていたという印象であった。約2万人来ていただいたということで、それも、桑名の外からやってきた人も多かったということだが、せっかくなので、どんな方が来ていたのかなど教えていただきたい。

事務局(市)：実際、市内の事業者も十数店舗参加いただいております、観光協会の事業者も参加いただいていた。建材のダイマルさんなどを中心に4名ほどが実行委員となり、普段お付き合いのあるネットワークを利用して、遠いところでは四国からも参加していただいていた。GJMとして募集された店舗としては、約240事業者ほど呼んでいただいております、アクセサリーやバッグ、小物などの販売やキッチンカーなど飲食もあった。広場で音楽演奏の演出や子どもがつくるジャングルジムなども設置されていた。あと、桑名のことを知ってもらうクイズラリーを実施していただいていた。用意した景品もすべてなくなるような状況であった。

5. その他

事務局(市)：次回の第6回協議会についてですが、2月19日(月)の午後1時30分からこちらの会議室で開催させていただきますので、あらかじめご案内させていただきます。それでは、以上をもちまして、「第5回桑名市かわまちづくり協議会」を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上